

スパムチェックゲートウェイサービス 削除オプション 利用マニュアル

[お客さまネットワーク管理者様向け]

2012年3月15日 Version 2.3

bit-drive

目次

1	スパムチェックゲートウェイサービスについて	3
1-1	標準オプション	3
1-2	削除オプション	3
2	スパム削除報告メール	4
2-1	仕様について	4
2-2	スパム削除報告メールの内容	5
2-3	設定について	6
3	ホワイトリスト機能	8
3-1	仕様について	8
3-2	設定方法	9
3-3	補足事項	12

1 スпамチェックゲートウェイサービスについて

お客様のメールサーバで受信するメールに対し、bit-driveデータセンターに設置したスパムチェックゲートウェイサーバでスパム判定を行います。本サービスには 2 種類のオプションが存在し、それぞれお客様のご要望に沿った形で選択することが可能となっております。

※両オプションとも、お客様ドメイン宛のメールを対象にスパムチェックを行います。

1-1 標準オプション

スパムメールと判定したメールの件名に[spam]を付加し、お客様メールサーバに配送します。

通常メールと仕分けることにより、業務効率アップ、ウィルスの侵入やフィッシングサイトへのアクセスを防ぎます。

一方で、スパムメールはお客様メールサーバに配信されてしまう為、スパムメールによるお客様メールサーバの負荷は軽減されません。

1-2 削除オプション

スパムメールと判定したメールはお客様メールサーバに配送せずに削除し、翌日送信先のメールアドレス毎に、時刻・件名・fromアドレスを一覧にしたメールを配信します。

※スパムメールの流量によってはメール配信が遅延する場合があります。

これにより、セキュリティリスクの軽減、お客様メールサーバのシステム負荷軽減を見込めます。

誤ってスパムと判定されて削除されないよう、予め受信したいメールのfromアドレスドメインをホワイトリスト機能に登録しておくことで受信することが可能となります。

2 スпам削除報告メール

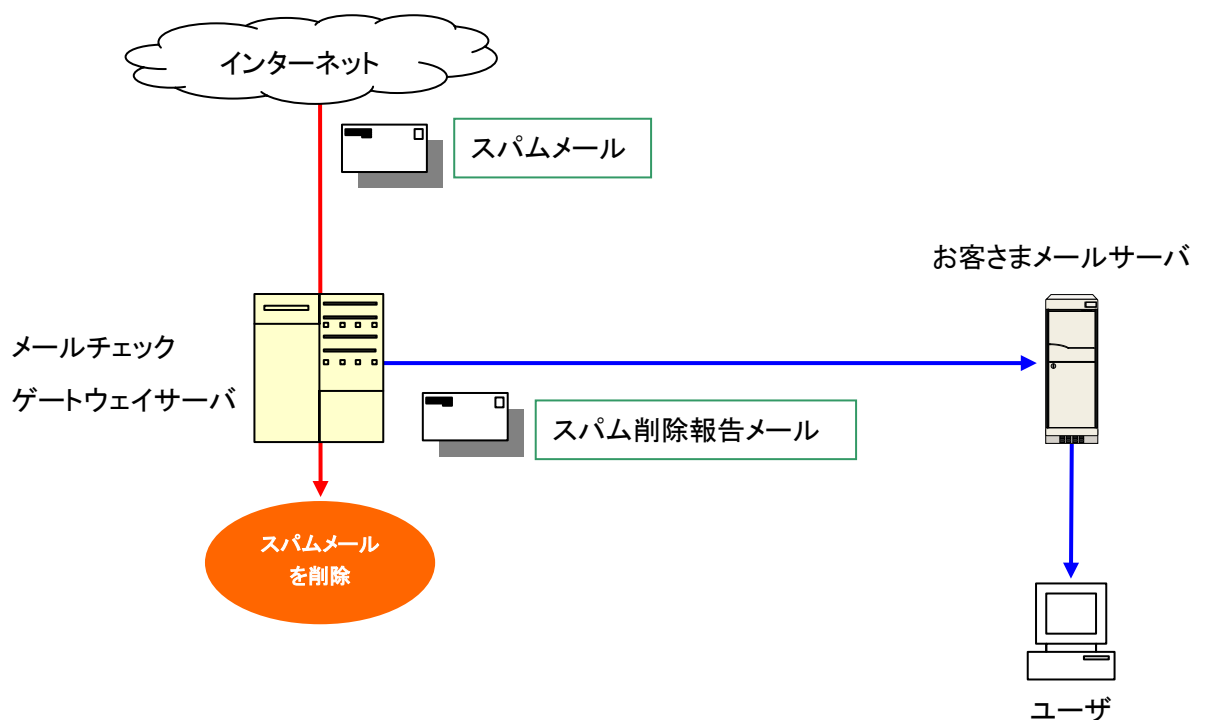
2-1 仕様について

スパムメールはアカウントの有無に関係なく、メールアドレスをランダムに生成し送信されることがあります。無効なアカウントにスパム削除報告メールが送信されることを避ける為、メールチェックゲートウェイサーバでは報告メールの送信前にお客さまメールサーバとSMTPセッションを張り、メールアドレスの有効性を確認しています。

(報告メールは、有効なアドレスのみに送信されます)

上記の動作により、以下の場合は全てのメールアドレスを有効とみなす形となります。

- お客さまメールサーバとのSMTPセッション内にて"User Unknown"を返さない場合
- お客さまメールサーバがメールリレー専用サーバの場合(ユーザーアカウント情報を保持していないメールサーバ)



2-2 スпам削除報告メールの内容

前日削除したスパムメールの情報を、送信予定であったメールアドレスに下図サンプルのフォーマットでお送りします。

```
=====
[bit-drive スпамチェックサービス] SPAM メール報告
=====

200X 年 XX 月 XX 日

MailAccount@okyakusama-domain.co.jp 宛に
以下の SPAM メールを受信し削除しましたので報告いたします。

20XX-XX-XX 10:42:35 XXX@spam.com
                スпамメール件名
20XX-XX-XX 15:07:23 YYY@spam.jp
                スпамメール件名

なお、不明点に関しましては、システム管理者様まで
お問合せください。
```

- 記載内容

報告メール内に記載される内容は以下の通りです。

- スпамメールの送信日時
- 送信元メールアドレス
- スпамメールの件名

- 報告メール送信元アドレスについて

報告メールの送信元アカウントは、"spam_notify_from_bit-drive"となります。

送信元ドメインはお客さまのドメインを利用いたします。

サンプルの場合、spam_notify_from_bit-drive@okyakusama-domain.co.jp となります。

- 報告メールの文字コード(エンコード形式)

メールチェックゲートウェイサーバから送られる削除報告メールの文字コードはUTF-8 となっております。閲覧する際は、UTF-8 の表示が可能なメールアプリケーションをご利用ください。

(その他の文字コードで表示させると、文字化けが発生する可能性があります)

2-3 設定について

削除オプションをご利用いただく際は、下記に記載しておりますお客さまシステムの各設定をご確認下さい。

- メールチェックゲートウェイサーバ送信許可設定

スパム削除報告メールは、特定ネットワークにあるメールチェックゲートウェイサーバより送信いたします。

送信元メールサーバを制限されている場合は、ルータまたはファイアウォールの設定などを確認し、指定のネットワークアドレスからお客さまメールサーバへのSMTPコネクションを許可していただけますようお願いいたします。メールチェックゲートウェイサーバが利用するIPアドレスネットワークにつきましては、bit-driveサポートサイトのファイアウォール設定マニュアルをご覧ください。

- お客さまドメインからのメール受信許可設定

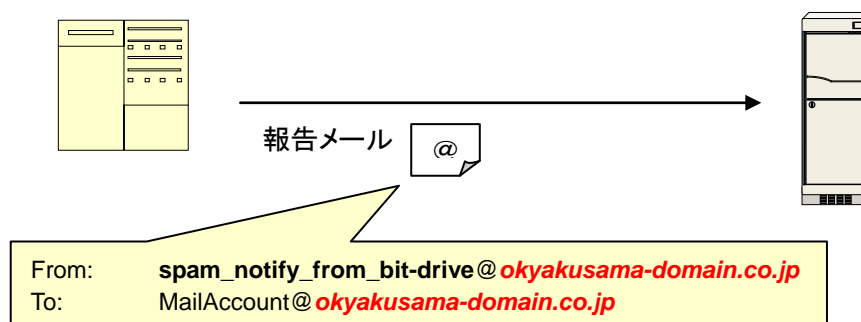
メールチェックゲートウェイサーバより送信する削除報告メールは、エラーとなって返送されることを防ぐ為、送信元ドメインにお客さまドメインを使用しております。

お客さまメールサーバにて、お客さまドメインを使用した外部ネットワークからのメールを受け取らない設定にされている場合(SPF対応など)は、下記メールアドレスの受信を許可して下さい。

spam_notify_from_bit-drive@okyakusama-domain.co.jp
(アカウント名 @ **お客さまドメイン名**)

メールチェックゲートウェイサーバ

お客様メールサーバ



尚、報告メールが未達の場合、お客さまメールサーバの"spam_notify_from_bit-drive"アカウント宛に返送 (bounceメール) されますので、下記設定を行っていただけますようお願いいたします。

■ "spam_notify_from_bit-drive"のアカウント作成について

[マネージドイントラネットをご利用になられている場合]

仕様により 24 文字以上のユーザーアカウント名を作成することができません。

任意のログインIDを新規に作成し、そのIDに対応したメールアドレスに

"spam_notify_from_bit-drive"をご指定ください。

[ネットワークサーバー"DigitalGate"をご利用になられている場合]

仕様により 24 文字以上のユーザーアカウント名を作成することができません。

メールエイリアスを設定し対処くださいますようお願いいたします。

詳しい設定方法については、bit-drive お客さまサポートサイトをご覧ください。または DigitalGateヘルプデスクへお問合せください。

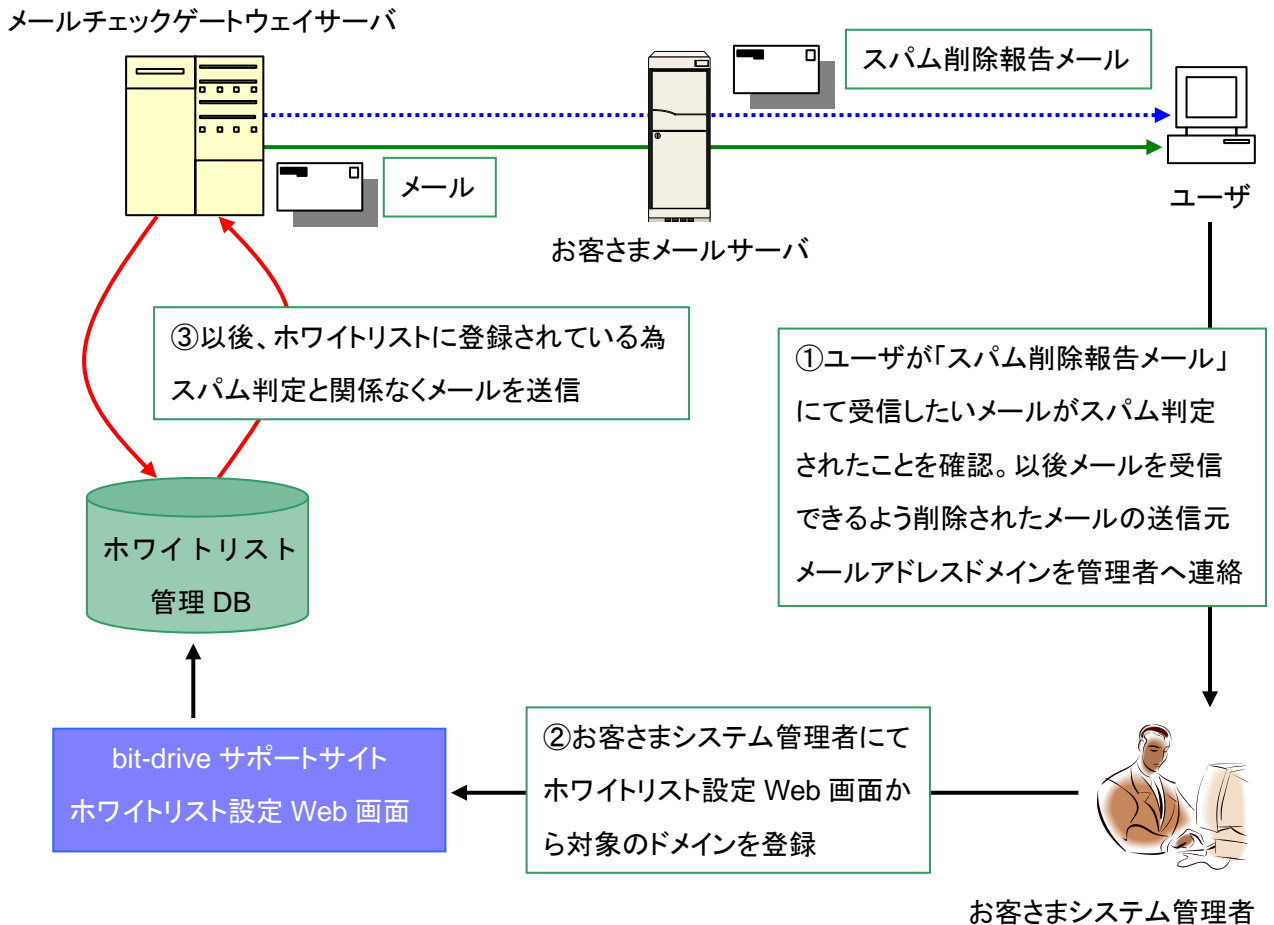
■ double bounce (ダブルバウンス) の設定

ダブルバウンス設定では、送信元となるアカウントが存在しない場合のエラーメールをどのように処理するかを決定します。(別アカウントに転送、破棄など)

3 ホワイトリスト機能

3-1 仕様について

スパム削除オプションをご利用の際、お客さまにて必要とするメールがスパムチェックゲートウェイサーバにてスパムと判定され、誤って削除されないよう予めホワイトリストに送信元メールアドレスドメインを登録することができます。



3-2 設定方法

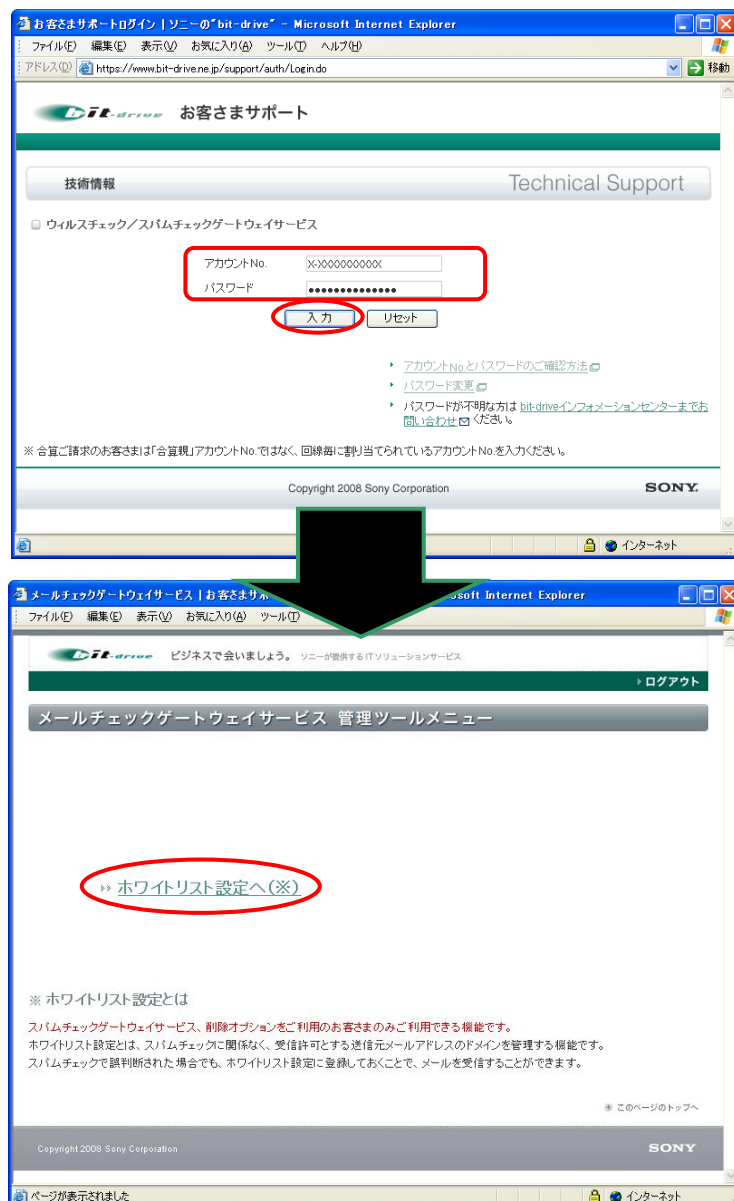
スパムチェックゲートウェイサービスのホワイトリスト設定は、bit-driveホームページ上のお客さまサポートサイト上から行います。下記に記載しております手順に沿って設定を行って下さい。

[1] ログイン

お客さまサポートサイト (<http://www.bit-drive.ne.jp/support/index.html>) 内の「技術情報」より、[セキュリティサービス]—[メールチェックゲートウェイサービス]—[各種管理画面ログイン]をクリックします。

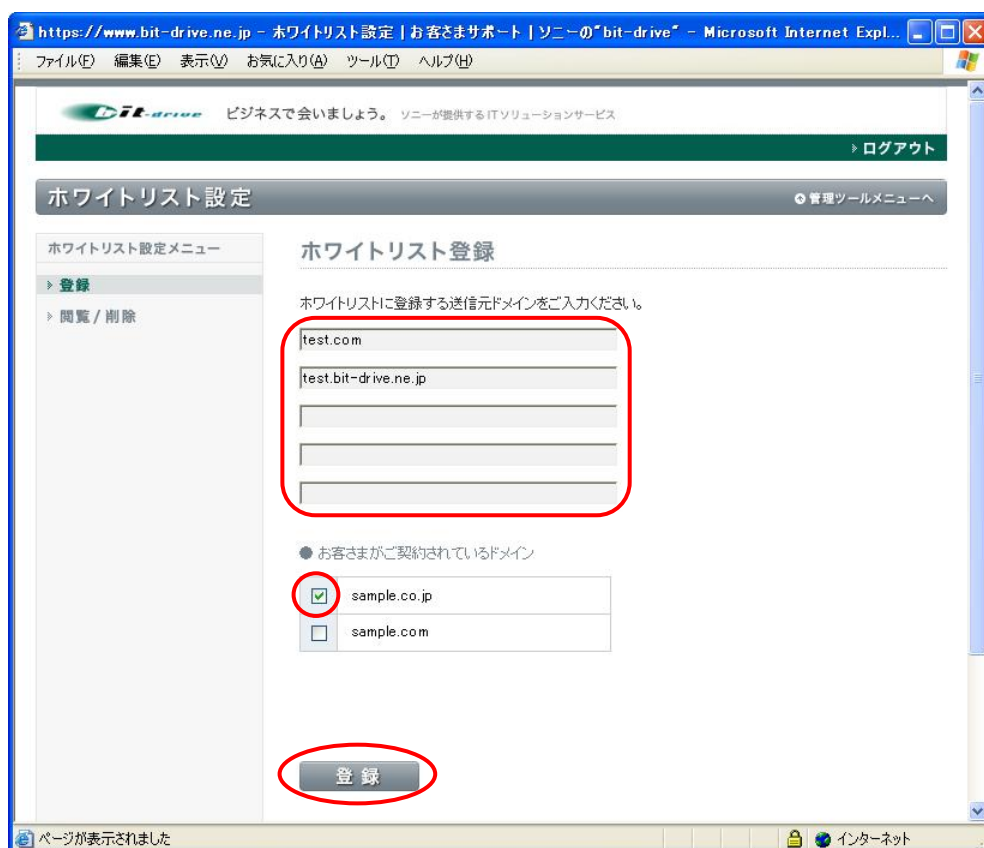
その後、お客さまサポートサイトログイン専用の「アカウントNo. / パスワード」を入力し、「入力」ボタンを押下します。ログインした後、「ホワイトリスト設定へ」をクリックします。

(ログインに使用するアカウントNo. / パスワードは、ご契約されている回線の書類をご覧ください)



[2] ホワイトリストの登録

ログイン後、ホワイトリスト登録画面が表示されます。登録させたい送信元ドメインをフォームに入力し、適用対象としてご契約いただいているお客さまドメインをチェックボックスにて選択します。その後、「登録」ボタンを押下します。



登録確認ダイアログで「OK」を選択した後、暫くすると【ホワイトリスト登録完了】画面が表示されます。以降、登録された送信元ドメインからのメールについてはスパムチェックされずに受信することができます。

[3] ホワイトリストの閲覧／削除

ログイン後、画面左のホワイトリスト設定メニューで「閲覧／削除」をクリックします。

その後、ご契約されているお客さまドメインが表示されますので、ホワイトリストの閲覧または削除を行いたいドメインの欄にある[閲覧／削除]をクリックします。



ホワイトリスト登録済みドメインの一覧が表示されます。

削除を行う際は、該当の送信元ドメインをチェックし、「削除」ボタンを押下します。



削除確認ダイアログで「OK」を選択した後、暫くすると【ホワイトリスト削除完了】画面が表示されます。

以降は削除した送信元ドメインからのメールについてはスパムと判断し、削除されます。

3-3 補足事項

[1] ホワイトリスト登録時の重複チェックについて

既に登録されているドメインと完全に一致している場合や、サブドメインを登録してもエラーにはなりません。

例: bit-drive.ne.jpが登録されている際に、test.bit-drive.ne.jpを登録することは可能
上記と逆になっても登録は可能

尚、サブドメインについては、その1つ上位のドメインが登録されていればホワイトリストの対象となります。

[2] ホワイトリスト可能登録数

一度に登録できる送信元ドメイン数は5つまでです。

また、ご契約ドメイン1つに対して登録できるホワイトリストの数は200までとなります。